

総務部

総務部

平成22年度（2010年度）6月補正予算案の概要

（1）予算のポイント

◆予算編成にあたっての背景・課題

情報漏えい等に対する情報セキュリティ意識が社会的に高まりをみせており、当市においても情報セキュリティ事故が毎年数件程度発生しているため、根本的な対策を迫られています。

一方、(注)ICTの活用が進み、現在3,000台に及ぶパソコンが稼動し、増加に伴い運用・管理業務が年々煩雑化しています。

(注)ICT…情報通信技術(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)

◆予算編成の考え方

中期経営計画の行政経営改革プランにおける改革項目1-2管理・監督機能の充実で掲げている情報セキュリティ管理の強化を推進します。また、パソコンの運用・管理軽減を図るため、シンクライアントシステムを導入します。

◆具体的な取り組み

職員の業務端末を従来のパソコンからハードディスク等の記憶装置を除いたシンクライアントシステムに変更することにより、電子データを業務端末に保存できない、あるいは、電子データを持ち出せない仕組みを構築し、電子データに係る情報漏えい等の情報セキュリティ事故を抑止します。

また、シンクライアントシステムの構造が比較的単純で故障の少ない端末とソフトウェアをサーバで一元管理する仕組みにより、システムの運用・管理、保守業務の軽減と、消費電力の削減を図ります。

(2) 6月補正予算総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項目	補正前の額	補正額	合計	補正の内容
2 総務費					
1 総務管理費					
	1 一般管理費	77,217	0	77,217	
	3 文書管理費	199,433	0	199,433	
	7 企画費	746	0	746	
	8 人事管理費	993,210	0	993,210	
	14 電算システム化費	1,915,991	40,500	1,956,491	情報化対策費
	16 諸費	81	0	81	
2 徴税费					
	1 税務総務費	393	0	393	
5 統計調査費					
	1 統計調査総務費	1,213	0	1,213	
	2 指定統計費	192,812	0	192,812	
合計		3,381,096	40,500	3,421,596	

総務部予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
補正前の額	3,381,096	35,793	240,993	0	37,803	3,066,507
補正額	40,500	0	0	0	0	40,500
合計	3,421,596	35,793	240,993	0	37,803	3,107,007

総務部

(3) 事業の説明

一般会計

款 2 | 項 1 | 目 14 | 電算システム化費

1 情報化対策費 40,500 千円

担当 情報システム課 予算書 21ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	40,500

職員の業務端末を、従来のパソコンからハードディスク等の記憶装置を除き、ソフトウェア、データをサーバで一元管理するシンクライアントシステムに変更することにより、電子データを業務端末に保存できない仕組みを構築し、電子データに係る情報漏えい等の情報セキュリティ事故を抑止するとともに、運用・管理業務の軽減、および消費電力の削減を図ります。

主な事業費

電算システム導入委託料	10,500千円
電算システム借上料	30,000千円